

chapter_6

6. 介護予防ケアマネジメントの過程 ～ アセスメント①～

38

使用する様式等

- 利用者基本情報
- 介護予防サービス・支援計画書
(認定調査情報、主治医意見書、基本チェックリスト)
- 介護予防支援経過記録
- 介護予防サービス・支援評価表



39

課題分析 標準項目

利用者基本情報



チェックリスト



情報収集・
課題分析が、
不十分だと
課題（ニーズ）の
捉え方も不十分と
なりやすい



アセスメント領域と現在の状況

運動・移動	室内外の歩行状況。 転倒歴や転倒不安。 ふらつきの有無や移動先（距離）。 交通機関を利用した移動状況等。
日常生活（家庭生活）	身の周りのことや家事全般をどうしているかについて、事実を記載。 預貯金の出し入れや日用品の買い物の状況等。
社会参加・対人関係・コミュニケーション	近隣との交流やコミュニケーション能力、対人関係や趣味等に関する事について事実を記載。
健康管理	健康管理の方法や通院、服薬、疾病の安定性の有無や清潔保持についての状況を記載。



利用者アセスメント

利用者宅でのアセスメントシーン

この映像は研修のために作成したものであり、
これから紹介する事例はあくまで架空のものです。
プロセスにおけるポイントを得るための題材にすぎません。
地域の実情に応じて運用が異なる場合があります。

利用者宅でのアセスメントシーン ポイント

1. 最初に訪問の目的を説明する
2. 利用者基本情報の確認をする
3. 基本チェックリストや興味・関心チェックシート等を活用して現状を把握
4. 課題の整理